

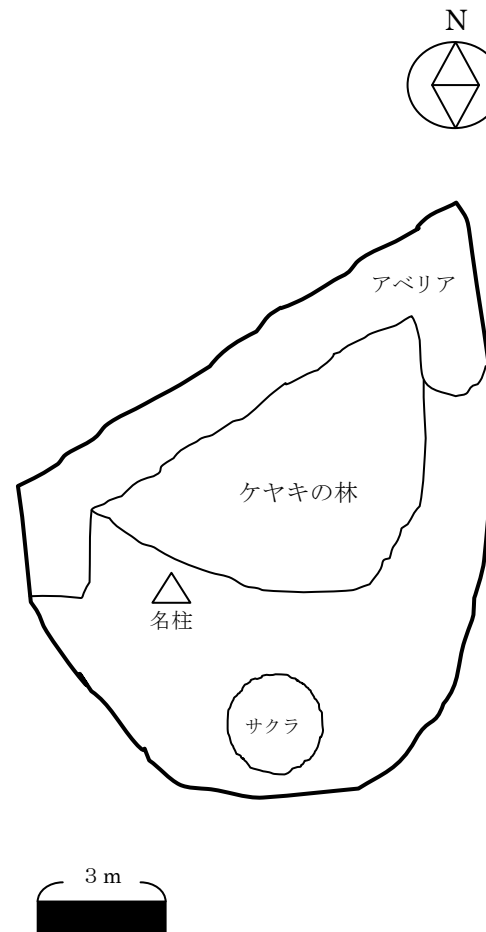
宮城県の森

宮城県は東北地方の太平洋側に位置し、日本三景の松島をはじめ、紅葉の鳴子峡、蔵王連山など豊かな自然景観に恵まれています。宮城県の森は、県の木・ケヤキを配植し、杜の都・仙台に想いを馳せるエリアになっています。



県の木 ケヤキ (ニレ科)

杜の都・仙台の象徴とされるケヤキ並木。青葉通りや禅定寺通りが特に有名で、春は新緑、夏は七夕、秋はジャズフェスティバル、冬はライトアップなど、市民に親しまれ観光名所にもなっています。



アベリア(スイカズラ科)

春から秋の長い期間、小さな白い花をたくさん咲かせます。病害虫が少なく刈り込みに強いため、公園や街路樹などの緑地に多く植えられています。

